

教育広報

かけはし

第99号 平成25年3月6日発行

発行/千代田区教育委員会 編集/子ども・教育部子ども総務課
代表電話3264-2111 <http://www.city.chiyoda.lg.jp/>



「中学校2年生スキー教室」
パルコール孺恋スキー場にて
(平成25年2月)



写真：千代田区教育委員会
千代田区広報広聴課

主な記事

- ☆ 子ども発達センター「さくらキッズ」
がオープン
- ☆ 千代田幼保一体施設が開設
- ☆ 千代田区立教育研究所コーナー
- ☆ 研究協力校・園の発表会
- ☆ 学校保健会だより
- ☆ 春の行事予定

子ども発達センター「さくらキッズ」がオープン

平成24年12月、主に就学前乳幼児の発達を支援する拠点施設「さくらキッズ」が児童・家庭支援センター内（神田さくら館6階）に開設されました。

さくらキッズは、お子さんの発達に関して気がかりなことや心配事について専門職が相談に応じる身近な子育て支援施設です。

お子さん一人一人の興味や力に合わせたプログラムで、楽しく通っていただきながら、健やかな成長と発達のお手伝いをいたします。

<施設概要>

- 対象：千代田区内にお住まいの小学1年生までのお子様とその保護者
- 開設日：月～土曜日（祝日・年末年始を除く）
- 時間：9時～17時
- 職員構成：常勤職員 8名（臨床心理士・作業療法士・児童指導員・保育士等）
：非常勤職員 9名（言語聴覚士・理学療法士・臨床心理士・音楽療法士等）



集団学習の様子

<プログラムの概要>

プログラム	担当専門職	支援内容
個別指導	運動	理学療法士 首すわりからお座り、はいはい、立つ、歩くなどの運動について、遊びを通じて支援します。
	言語	言語聴覚士 「サ行」が「タ行」になる、言いたいことがスムーズにでない、ことばの数が増えない等の相談に応じ、ことばのやり取りや発語について支援します。
	心理	臨床心理士等 「友達とうまく遊べない」「落ち着きがない」「こだわりが強い」など一人ひとりの発達特性に応じ、お子さんの得意、不得意を明確にして、コミュニケーションやことばの理解・概念学習について支援します。
	作業	作業療法士 手先の不器用さや運動のぎこちなさについて、はさみや箸など机上の活動や感覚と運動の統合訓練を通して支援します。
集団指導	保育士 心理士 作業療法士 音楽療法士 等	コミュニケーション、社会性、情動・行動の調整、言語、認知等について支援し、友達とのやりとりや集団参加の力を育てます。 定員：1グループ10人（週1回、9グループ） 時間：午前グループ 9時30分～11時30分 午後グループ 13時30分～15時30分

●気がかり相談

お子さんの発達に関して、気がかりなことがありましたら気軽にご相談ください。

（来所相談を希望される方は事前予約が必要です。） ☎3256-8162

千代田保・幼・小連携施設（千代田幼保一体施設）が開設します

区では、幼児教育のあり方検討会の報告書を踏まえ、乳幼児施設のあり方について検討してきました。そこで、園児の減少傾向にあった千代田幼稚園については、長時間保育を設けるとともに、幼稚園では対象とならない0～2歳児の認可外保育施設を併設した、千代田保・幼・小連携施設（千代田幼保一体施設）として平成25年4月に開設します。

0歳児から就学前までの子どもの成長や学びの連続性を考慮した質の高い幼児教育・保育を行い、義務教育である小学校教育に円滑に接続していきます。

千代田保・幼・小連携施設（千代田幼保一体施設）の概要

千代田保・幼・小連携施設（千代田幼保一体施設）は、保護者の就労形態の違いにより、子どもの就園先を区別しない、幼稚園・保育所の枠を超えた新しい乳幼児施設で、昌平幼保一体施設に続く二番目の施設です。

千代田小学校の通学区域に住んでいて、保育を必要とする世帯が利用しやすくなります。次の考え方にしたがって運営していきます。

●千代田幼稚園の歴史・伝統を継承

千代田幼稚園と千代田小学校の連携教育の歴史と伝統をさらに発展させ、幼稚園と保育所を包含した新たな乳幼児施設とします。

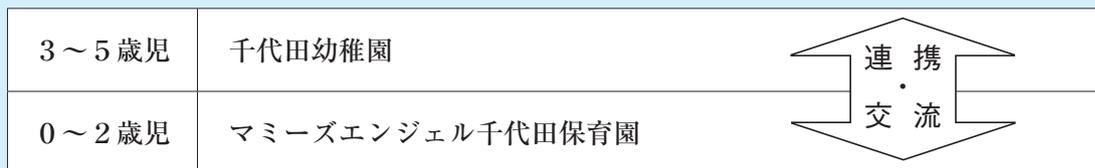
●子どもの成長や学びの連続性を考慮した育成

0～2歳児が対象の併設保育施設から、3歳以上の幼稚園、さらに小学校教育へと、子どもの成長や学びの連続性を考慮した育成に取り組みます。

●保育時間のパターンを選択

保育を必要とする子どもの状況に応じ、保護者が保育時間のパターンを選択できます。

▼千代田幼保一体施設のイメージ



	千代田幼保一体施設（神田司町二丁目16番地 神田さくら館）		
	千代田幼稚園（2階）		マミーズエンジェル千代田保育園（1階）
	幼稚園教育課程（短時間保育）	長時間保育	認可外保育施設
設置・運営	千代田区		（株）マミーズエンジェル
定員	3・4・5歳児 各10人	3・4・5歳児 各10人	0・1歳児 10人 2歳児 10人
保育時間	8時50分～14時 （～16時30分）預かり保育	7時30分～18時30分 （延長保育はありません）	7時30分～18時30分 （延長保育はありません）
月額保育料	こども園・短時間保育料と同じ	こども園・長時間保育料と同じ	0歳児 80,000円 1・2歳児 各78,000円 ※1・2

※1 認可保育所の入園要件を備えた世帯は、認可保育所を利用した場合と比較して、2割程度安くなる「保育料減額補助」があります。

※2 マミーズエンジェル千代田保育園は、別途、入園料21,000円が必要です。

【問合せ先】 子ども支援課計画主査 電話 : 03-5211-4229

千代田区立教育研究所コーナー

千代田区立教育研究所は、千代田区における教育の充実及び振興を図ることを目的に、今年度、主に次のような活動をしてきました。

千代田区の教育課題についての調査研究（教育課題調査研究部会）

今年度は、「習熟の程度に応じた算数・数学科少人数指導の充実による学力向上を目指して」をテーマに小・中学校、中等教育学校の代表の先生方に調査研究員を委嘱し、調査研究を行いました。まず、区の児童・生徒の学力の実態と指導上の課題を明確にしました。その結果、習熟の程度の早い児童・生徒が意欲的に授業に取り組む学習指導や、学力にばらつきが見られる習熟の程度の遅い児童・生徒へのきめ細かな学習指導、学習内容と日常生活を結び付け活用できるような学習指導等が必要であることが分かりました。この結果を踏まえ調査研究員が授業を行い、区における習熟の程度に応じた算数・数学科指導の在り方について追究しました。

これらのことは、3月に報告書にまとめ、各方面に配布いたしました。

若手教員の授業力と資質向上を目指して

教職経験2～3年目の教員は年間一人3回以上、4年目の教員は年間2回の授業研究を実施いたしました。また、年間3回の全体研修会では、学級経営や生活指導、学校行事運営の研修を集中的に実施し、授業力や教師としての資質向上への一翼を担いました。



（麹町中学校）

日頃の職務遂行に加えたこのような研修を通して、若手教員が児童・生徒や保護者から信頼され、自信をもって指導している姿を、学校訪問の度に確認することができました。

教育研究所の教育研究専門員も、更に、研鑽を重ね、若手教員や教育現場の期待に応えるよう精進して参ります。

「さすが千代田区の教員」と若手教員が称されるよう、今後も精一杯応援していきます。

「教科書センター」の活用

昭和49年度から最新の小・中学校の教科書を展示しており、多方面の方々が閲覧されています。学校での授業改善や校内研究のための活用をはじめ、区民の方も専門の分野や課題が現在の教科書でどう扱われているかなどに関心をもたれるなど、多くの皆様に利用されています。ぜひご活用ください。

今年度も、6月に千代田図書館で、区で採択された教科書の展示会を開催いたしました。

初任者研修事業と教育アドバイザー

今年度新しく教員になった方々の研修を支援してきました。学級経営や生活指導、現在の教育課題等について理解を深めるとともに、学習のねらいや進め方、発問や板書の仕方、教材・教具の活用等についても研修を深めました。また、学校と連携し、若手教員の悩みや課題について相談に応じるアドバイザー活動も行ってきました。初任者研修や教育アドバイザー活動を通して、若手教員は、確実に自信と実力を身につけております。

主幹教諭研修と学校リーダー研修

学校への信頼は、管理職や主幹教諭等の「学校リーダー」の力量にかかっていると言っても過言ではありません。本年度は、新たに3回の「主幹教諭研修」と2回の「学校リーダー研修」を位置づけ、学校の課題に即した改善方策を探ると同時に、これからの管理職候補者の発掘・育成に努めてきました。

特に、初回の学校リーダー研修では、識者による講演会に約40名の参加者が集い、リーダーシップの在り方について識見を深めました。また、各学校を巡回して行った2回目の主幹教諭研修は、指導課指導主事や研究所の教育研究専門員を交えて具体的な改善策を共に考えてもらうことができたこと、大変好評でした。



白鳥教室（適応指導教室）

体調を崩したことから学校を休みがちになったり、進級したけど学力やともだち関係など学校生活が不安で行きそびれたりしているお子さまをサポートしてきました。

正式入室の児童生徒数は7名。そのうち区立学校に完全復帰できた生徒が1名、完全復帰を目指している生徒が3名の状況です。

今後も在籍校と、より一層連携を深めていきます。

栽培活動では、草花以外にも、トマト、なす、キュウリ、スイカなどの野菜を収穫し、調理実習へと発展させました。今後も心のケア、基礎学力の向上、健康な体づくりなどを目指していきます。



◎お子様の自立を願っている保護者の皆様へ!!

「お子さまと一緒に白鳥教室の扉をあけてみませんか」

※学校生活になじめない児童・生徒が心身ともに新たな気持ちで出発できるよう学習・生活をサポートしていきます。

☆ 白鳥教室に直通専用電話 TEL [03-3256-6775]

平成24年度研究協力校・園の発表会

教育委員会は、学校・園が当面する課題について研究し、教育課程、指導内容・方法、学校運営などについて改善を進めるため、2年間に渡って研究を深め、その成果を広く発信する研究協力校・園を指定しています。

本年度、研究2年目の発表会を行った4校園について紹介します。
(青字は研究主題です)。

昌平小学校

(平成24年11月22日)

自分の考えをもち、互いに学び合い
高め合う児童の育成

—伝え合う活動を重視して—



伝え合うことの良い感じさせ、自分の思考だけに終わらず、互いに高め合っていく児童に育成について研究しました。

(平成24年11月30日)

麴町小学校

子どもたちが生き生きとたのしく
学ぶ理科・生活科

—実感を伴った理解を図る指導の工夫—



実感を伴った理解をさせたり、自然の不思議さや面白さを実感させたりする指導について研究しました。

番町幼稚園

(平成24年12月14日)

自分をひろげる 友達とつながる

—言葉の力を見つめた 教師の援助—



幼児期における言葉の力を考え、自分をひろげ、友達とつながる経験を充実させていくための教師の援助について研究しました。

(平成25年1月18日)

富士見小学校

クリエイティブでたくましい
児童の育成

—わかる つながる まもる 富士見の教育—



国際教育、体育、自然との関わりを通じた教育を通して、グローバルな社会で活躍できる児童の育成について研究しました。

千代田区 学校保健会だより

第86号
(昭和52年5月15日創刊)

千代田区学校保健会
会長 村上 みな子

平成24年度 千代田区学校保健大会開催

平成24年11月17日(土) いきいきプラザ一番町「カスケードホール」において、学校保健関係者多数の出席のもと、平成24年度千代田区学校保健大会が開催されました。

学校保健大会は、千代田区における学校保健、学校給食の充実を図り、幼児・児童・生徒の健康づくりを推進し、その実績と成果を集大成し、健康教育の充実と発展に資することを目的として毎年開催されております。

当日は、学校保健関係者をはじめ、PTA、学校教職員などおよそ130名の出席者を迎えることができました。

大会は、山上監事(麹町中学校副校長)の司会により、丸山副会長(お茶の水幼稚園・小学校・神田一橋中学校学校医)の開会のことばから始まり、村上会長(麹町中学校長)の挨拶に続き、来賓の石川雅己区長、小林やすお区議会議長、中川典子教育委員長からご祝辞を賜り、本会の活動への期待をいただきました。

続いて、長年にわたり学校保健に尽力された3名の功労者の紹介が行われました。

休憩ののち、2つの部会の代表による口頭での研究発表があり、学校医・幼稚園医及び学校専門医・幼稚園専門医部会からは、「眼科医の立場から」と題して、視力の解説と眼鏡やコンタクトをつくる場合の注意点等の発表がありました。

続いて、学校栄養職員部会からは、「生きた教材としての学校給食」と題し、学校の中で実践されている様々な食育の取り組みの発表を行いました。

閉会にあたっては、愛知理事(九段小学校歯科医)が挨拶し、ご協力いただいた方々への感謝を述べました。

(大会誌より抜粋)

千代田区学校保健大会に寄せて

千代田区学校保健会会長 村上 みな子
(千代田区立麹町中学校長)

遊びをせんとや 生まれけむ 戯れせんとや 生まれけむ
遊ぶ子どもの声きけば 我が身さへこそ 動がるれ

今年のNHK大河ドラマ「平清盛」の中での挿入歌です。今年という平安時代後期に流行した歌で、解釈はいくつかあるようですが、このドラマでは、「子どもが遊ぶときは、時のたつのも忘れて夢中になる。子どもが遊ぶように、夢中で生きたい。」という意味で歌われています。昔から、子どもは遊びの天才といわれ、遊びを通して様々なことを体験的に学ぶとともに自ら体を動かし、心身ともにたくましく成長していきます。自ら工夫をして遊びを創造したり、時には仲間同士で争い、ケンカとなり、そして仲直りをする等、さまざまな体験を積み重ねながら、人とかわり、学び合い、丈夫な体とともに正義感や公正な態度、思いやりなど豊かな心をはぐくんでいきます。

しかしながら、近年の子ども達の状況はどうでしょう。情報化・国際化と社会が急激に進歩発展を遂げ、子ども達を取りまく生活環境は著しく変化しました。その結果、自然体験や生活体験不足、人間関係の希薄化、耐性の欠如等々、生活面や健康面に対して課題となる影響が表出しています。さらに、昨今いじめの問題が大きな社会問題になっていることをはじめとして、体力が低下傾向にあることや食に関する問題や生活習慣にかかわる健康問題等、解決すべき身近な健康課題が山積している状況です。このような状況を踏まえて、21世紀を担う子ども達が、心身ともに健康で明るくたくましく成長することを願い、学校を



会長挨拶

核として、学校医の先生方や教育委員会、地域関係者、保護者の皆様方の強固な連携のもとに、各種の健康課題の解決に向けた組織的な取り組みが期待されています。

そのような中で、千代田区学校保健会は、「①幼児・児童・生徒の健康の保持増進を図ること ②学校教育に必要な健康や安全の配慮を行うこと ③自己や他者の健康の保持増進ができるような能力を育成すること」を基本的な活動基盤として、学校における保健管理や保健指導の充実を目指すとともに、学校医・学校保健主任部会・学校給食主任部会・養護教諭部会等の研究活動を継続的に推進して参りました。そして、その研究成果が、直接、各学校・園や各家庭において生かされていることは言うまでもありません。

これからも、千代田区学校保健会が、本会活動の趣旨に沿って、より一層保健教育並びに保健管理の充実をめざし、不断の努力を重ね活動成果を上げていくことにより、千代田区に学び・生きる子ども達は、明るく豊かな健康生活を着実に実現していくことができるものと思います。

終わりにりましたが、平成24年度千代田区学校保健大会を開催するに当たり、多大なるご尽力を賜りました千代田区並びに千代田区議会、千代田区教育委員会をはじめ関係各位に心から感謝を申し上げ、結びといたします。

平成24年度 学校保健功労者

(敬称略・順不同)

お茶の水幼稚園 幼稚園医・お茶の水小学校 学校医	井上賢治
千代田小学校 学校医	西松能子
麴町中学校 学校薬剤師	都築ひとみ

研究発表1

○学校医・幼稚園医部会 学校専門医・幼稚園専門医部会

『眼科医の立場から』 新本和英



- 正視・遠視・近視・乱視
- 調節緊張
- 眼鏡
- コンタクト
- 心因性視力障害
- アトピー性皮膚炎と目
- 斜視と斜位
- 屈折矯正手術



研究発表2

○学校栄養職員部会

『生きた教材としての学校給食 —教科・行事等と連携して—』



- 1 はじめに
- 2 活動内容
- 3 実践
 - 実践例① 家庭科と連携した取組
 - 実践例② 総合的な学習の時間と連携した取組
 - 実践例③ 行事食・季節の特別献立
- 4 成果と今後の課題

大会誌紙面発表

○学校歯科医・幼稚園歯科医部会

『^{いのち}生命と^{はざま}歯の間で』

— 悩むことはありません — 愛知徹也

○学校薬剤師・幼稚園薬剤師部会

『教室の照度試験』

清水弘明



○学校保健主任部会

小学校『心と体の健康づくり』

— 健康教育の実践「心の健康」を中心に —

中学校・中等教育学校『思春期における健康教育』

— 「こころとからだの健康アンケート」を通した心の健康のサポート —

○学校給食主任部会

『給食指導の実践報告』

— 食生活に関心をもち、食べ物を大切にする心を育む給食指導 —

○養護教諭部会

『学校保健の向上を目指して』

— 日常の保健活動に活かせる執務の工夫 —

平成24年度 東京都教育委員会表彰

健康づくり功労者（学校保健・学校安全分野）

富士見小学校 学校医・ふじみこども園 園医 滝 正彦 先生

滝先生は学校医、園医として27年以上の永きにわたり、園児・児童の健全育成に熱心に取り組み、学校保健の普及充実に努力され学校教育の向上に尽力された功績により、健康づくり功労者として表彰されました。今後ますますのご健康とご活躍をお祈りいたします。

※大会誌についてのお問い合わせは、千代田区学校保健会事務局（学務課）まで
電話：03-5211-4357

春の行事予定

保育園・こども園
 幼稚園
 児童館
 小学校
 中学校・中等教育学校

4月

2日	入園式（保育園）
6日	始業式・入学式（九段中等教育学校）
8日	始業式・入学式（小学校・中学校）
9日	始業式（こども園・幼稚園）
10日	入園式（こども園・幼稚園）
14日	入学式（神田一橋中学校通信教育課程）
15日～17日	軽井沢移動教室 1年（九段中等教育学校）
17日～19日	軽井沢移動教室 1年（麴町中学校）
17日	子どもの安全・安心一斉パトロール
22日～24日	軽井沢移動教室 1年（神田一橋中学校）
24日 ※1	入学・進級おめでとう会（児童館）

5月

5日	こどもの日行事（児童館）
14日～15日	孺恋自然体験交流教室 5年（麴町小学校・九段小学校・お茶の水小学校）
15日～16日	孺恋自然体験交流教室 5年（番町小学校・富士見小学校・和泉小学校）
16日～17日	孺恋自然体験交流教室 5年（千代田小学校・昌平小学校）
18日	体育祭（九段中等教育学校）
19日	ひがた探検隊（春の部）
21日～23日	箱根移動教室 6年（九段小学校・お茶の水小学校）
23日～25日	箱根移動教室 6年（麴町小学校・千代田小学校）
23日～25日	修学旅行 3年（麴町中学校・神田一橋中学校）
27日～29日	箱根移動教室 6年（富士見小学校・昌平小学校）

6月

1日	運動会（麴町中学校）
3日～5日	箱根移動教室 6年（番町小学校・和泉小学校）
6日	学校保健会総会
8日	運動会（神田一橋中学校）
19日 ※1	エコゲーム会（西神田児童センター・神田児童館・一番町児童館）
26日～28日	関西課題研究合宿 5年（九段中等教育学校）

※ 上記日程は変更になる場合がございますので、ご注意ください。

※1 詳しくは児童館だよりをご確認ください。